エ　地域環境に配慮した草花生産

(6) 草花生産と経営の実践

3　内容の取扱い

(1) 内容を取り扱う際には，次の事項に配慮するものとする。

ア　草花の生産から消費，経営までの仕組みと草花の利用形態を理解できるよう留意して指導すること。また，プロジェクト学習では観察や実験・実習を通して，科学的かつ創造的に学習を進め，草花生産に関する実践力が身に付くようにすること。なお，地域農業の実態や学科の特色等に応じて，適切な題材を選定すること。

イ　〔指導項目〕の(1)については，科目学習の導入として扱うこと。また，(6)については，(1)を踏まえ，(2)から(5)までと並行して，又はそれらを学習した後に扱うこと。

(2) 内容の範囲や程度については，次の事項に配慮するものとする。

ア　〔指導項目〕の(1)については，農業科に属する他の科目と関連付けながら科目全体で科学的かつ創造的に学習を進めるように扱うこと。

イ　〔指導項目〕の(2)については，草花の生産及び需給の動向について基礎的な内容を扱うこと。

ウ　〔指導項目〕の(3)については，生育過程，生理作用，栽培環境と生育の調節や環境に配慮した草花栽培の技術について基礎的な仕組みを扱うこと。

エ　〔指導項目〕の(4)については，品種の選定，栽培計画の立案，生育段階に応じた栽培管理，商品化と生産物の管理・評価などについて体系的に扱うこと。

オ　〔指導項目〕の(5)については，生産目標の設定と経営計画の立案，農業生産工程管理，販売方法の工夫，生産費や流通手段などについて基礎的な内容を扱うこと。

カ　〔指導項目〕の(6)については，草花経営に関する実践的な活動を行うこと。なお，起業や六次産業化に関わる内容についても扱うこと。

第9　畜産

1　目　標

農業の見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して，家畜の飼育と畜産経営に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 家畜の飼育と畜産経営について体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。

(2) 家畜の飼育と畜産経営に関する課題を発見し，農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。

(3) 家畜の飼育と畜産経営について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学び，農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2　内　容

1に示す資質・能力を身に付けることができるよう，次の〔指導項目〕を指導する。

〔指導項目〕

(1) 「畜産」とプロジェクト学習

ア　畜産に関するプロジェクト学習の意義

イ　プロジェクト学習の進め方

(2) 畜産の役割と動向

ア　畜産の役割

イ　生活と家畜・畜産物の利用

ウ　畜産物の流通と需給の動向

(3) 家畜の特性と飼育技術

ア　家畜の種類と特徴

イ　家畜の発育と生理・生態

ウ　飼育環境の調節

(4) 家畜の飼育と管理・評価

ア　品種の特性と選び方

イ　家畜の改良

ウ　繁殖計画と管理

エ　飼育計画と管理

オ　家畜と飼料

カ　家畜の病気と予防

キ　家畜・畜産物の商品化と管理・評価

ク　畜舎と機械・施設の利用

(5) 畜産と経営

ア　生産目標と経営計画

イ　生産工程の管理

ウ　流通と販売

エ　地域環境に配慮した畜産